

入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 29 年 7 月 7 日
第 8 号

学校水泳始まる！ プールは気持ちいいな

6月22日から今年も学校水泳が始まりました。B & G海洋センターさんのプールをお借りして行うようになってから今年で3年めです。屋内のしかも温泉プールなので、天気や気温にまったく左右されず、快適な水泳をすることができます。この季節、屋外プールでは少し気温が低い日なら、子どもたちはガタガタ震えながら、唇を紫色にしてプールに入ることもあります。そんなこととは全く縁がない屋内プールで泳げる子どもたちは幸せですね。



授業では、低学年の「水に慣れよう、親しもう」から始まり、発達段階に応じ、学年ごとにそれぞれ目標をもちながら、卒業時には少しでも長い距離を泳げるようになるよう、一生懸命練習しています。

フッ化物洗口 虫歯をやっつけろ！

本校では7月12日から、希望者にフッ化物洗口を始めることになりました。それに先立ち、6月29日にお二人の歯科衛生士の方に来校いただき、正しい歯みがきのしかたとフッ化物洗口のしかたを教えてくださいました。



フッ化物は一般にはフッ素と呼ばれていて、「フッ素配合」の歯磨き粉もたくさん市販されていますので名前をご存知の方も多いかと思います。フッ化物洗口とは、このフッ化物の虫歯予防効果を利用して、ごく薄い濃度にしたフッ化物水溶液で、口の中をぶくぶくうがいすることで、虫歯になりにくい歯を作ろうというものです。正しい歯みがきと併用することにより、より高い虫歯予防効果を得られるというわけです。そこで今回、正しい歯みがきの方法と、正しいうがいのしかたの両方を教えてくださいました。より効果的な取組にすることが目的です。



5年生までの子どもたちは、保育所の時もフッ化物洗口をしていたということで、慣れたものでした。小学校では毎週水曜日の昼休み終了直前にフッ化物洗口を行っていきます。洗口をしていれば大丈夫ということはありませんので、各ご家庭でも朝晩の歯みがきにつきまして、ご指導をお願いいたします。

マナウスよもやま話 ⑤

マナウスへ到着！

日本を出発して約30時間。いよいよマナウスに到着です。マナウスの空港直前には飛行機の窓からジャングルやアマゾン川を見ることができ、ジャングルの奥地に来たことを自分の目で確かめることができるようになっていました。飛行機を降り、最後の荷物のピックアップも終わり、到着ロビーを出ると先輩の派遣教員と家族の方々が私たちを出迎えてくれました。派遣は原則3年でしたので、派遣2年めと3年めの方々に迎えていただいたということになります。

空港内はエアコンが効いていて熱くはないのですが、建物から出ると4月だというのに真夏のような熱気。ここは熱帯雨林の真只中です。日本でいえば8月のような気候でした。私と同時に派遣されたもうひとりの長野県出身の先生は、子どもさんが2人いたので、我が家より荷物が少し多く、段ボール15個くらいだったと思いますが、スーツケースも含めて2家族分、計約30個の荷物をトラックに積み込んでもらい、いざ、街中へ出発です。

まず向かうのはホテルです。出発までに住むアパートは、先輩方に紹介してもらった中から決めてはありますが、契約をしてからでないと住むことはできません。電気の契約もまだです。ですから、アパートの準備が整うまではホテル住まいです。と同時に、日本から持っていったのは段ボール11個だけですから、その中には家具や電化製品などの家財道具はありません。翌日からは家財道具をそろえるための買い物が始まります。長旅の後ですから、この日は暗くなってほどなく3人とも爆睡だったのは言うまでもありません。

到着2日めから、自分が買った車がやって来るまでは、先輩の車に乗せてもらうか、タクシーに乗るかのどちらかです。しかも、着いてすぐですから、ポルトガル語を話せるわけもなく、先輩の先生や奥様に同行していただかないと何もできません。先生の仕事は到着4日めから始まることになっていたもので、決して余裕があるわけではありません。いかに効率よくかつ、1日でも早くアパートに引っ越せるよう店を回るかが大切です。なので、重要な順に回ります。まずは、アパートの契約です。電気の契約は電話でOKでした。次は、ベッドなどの家具。搬入も最速の日をお願いして、買い物は順調に進みました。

ところが、ここは日本ではありません。さっそく南米の洗礼を受けました。私はもう仕事が始まっていたので学校へ行っており、後は妻がすべて準備を進めてくれることになっていました。アパートの契約は済んでいるので、鍵はもらっており、昼間にアパートに入ることはできます。問題は電気でした。最初にごく簡単な工事があるとのことで、来てくれる日時を決めてあったのですが、待てど暮らせど工事の人はやって来ません。付き添ってくれていた先輩の奥様が電話してくれると、「今日はもう仕事の時間が終わったから、行くのは明日だ」とのこと。翌日もなかなかやって来ず、結局やって来たのは夕方になってからだったとのことでした。めでたく電気が通り、アパートで寝られるようになったのは、到着後5日めのことだったと記憶しています。実は、これでも早い方だったそうです。ほとんどのことが時間通りに事が運ぶ日本とは全然ちがいますね。